

公開・非公開の別

■公開 □部分公開

□非公開

令和3年度 第2回浜松市医療的ケア児等支援協議会

会 議 録

1 開催日時 令和4年3月2日(水) 午後2時から午後3時15分

2 開催場所 ZOOMによるオンライン開催

3 出席状況

委員氏名	所属	備考
福田 冬季子	浜松医科大学	
宮谷 恵	聖隷クリストファー大学	
遠藤 雄策 (会長)	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	
大木 茂	総合病院 聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター新生児科	
岡崎 貴宏	岡崎内科医院	
八幡 正信	県立西部特別支援学校	
里 あゆ子	浜松地区肢体不自由児親の会	
清水 恵美	在宅医療ケアのある子を持つ親の会	
梶村 美由紀	浜松市中障がい者相談支援センター	
鈴木 崇之	相談支援事業所アグネス	
雨宮 寛 (副会長)	浜松市障がい者基幹相談支援センター	
稲川 秀子	学校教育部 指導課	
井川 宜彦	こども家庭部 幼児教育・保育課	
小林 章吾	こども家庭部 子育て支援課	
島 和之	健康福祉部 健康医療課	
久保田 尚宏	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
柴田 多美子	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
山内 愛美	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
尾関 ゆかり	浜松市社会福祉事業団 (事務局)	
阿部 祥美	浜松市社会福祉事業団 (事務局)	

4 傍聴者 なし

5 議事内容

- 1 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告
- 2 【意見交換】医療的ケア児等への支援に関する各分野の課題や意見
- 3 医療的ケア児等支援者養成研修報告
- 4 その他
 - ・令和3年度医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会について
 - ・医療的ケア児等の支援体制整備に向けた現状把握調査について

6 会議録作成者 浜松市社会福祉事業団 相談支援事業所シグナル 阿部

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

8 会議記録

- | |
|--|
| <p>1 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告
資料に基づき事務局から説明
<委員からの意見>
(尾田委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・相談業務の具体的な相談内容を知りたい。また、ニーズや課題が多く上がっているが、今後取り組んでいく優先順位を教えてください。 <p>⇒(事務局) 在宅や入院中の子どもが利用できる療育や預け先を知りたいという相談が多い。また、一般校に通いながら、医療的ケアがある方の就労や就学先の検討についての相談もある。課題の優先順位は、まず災害時支援に取り組んでいきたい。災害時個別支援計画の作成について優先して対応していきたいと考えている。</p> <p>(清水委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時支援から取り組みを進めていくとのことだが、現在の新型コロナウイルスの状況も災害時として考えた時に、医療的ケア児や家族が感染した際に行政との関わりがコーディネーターとしてあるか。また、災害時個別支援計画や名簿は共有する場所はどんなところとしていただけるか？ <p>⇒(事務局) 名簿については現在災害時、発災時のみの共有となっている。今後共有先については検討していきたい。災害時個別支援計画は計画相談、利用事業所、医療機関と共有している。コロナ感染時に行政との関わりは現状ない。</p> <p>(尾田委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・医療的ケア児等コーディネーターとして、それぞれのニーズについて今後どのように対応していくのか。 <p>⇒(事務局) 今後浜松市と相談しながら、当事者の相談会や制度説明会なども実施する中で当事者の声を聴いていきたい。</p> |
|--|

2 【意見交換】医療的ケア児等への支援に関する各分野の課題や意見
医ケア児法案も制定された上で、各分野の方々のご意見を伺いたい

<委員からの意見>

(大木委員)

- ・先日、静岡県の医療的ケア児等コーディネーター配置について確認し、県のセンターは看護協会に委託し2人配置と聞いている。実際は、県配置の看護師がどのような対応をしていくのか、県と各市町がどう連携をとっていくのか不透明なことも多いと感じている。

(遠藤委員)

- ・先日の県の研修会でも看護協会に委託して設置方向の話聞いた。各市町と県が連絡会を実施しながら共有できると聞いた。どこまで市としてできるのか。県との連携も必要だと感じている。

⇒(事務局) 来年度、静岡県に医療的ケア児等コーディネーターが配置されるため、動向を確認していきたい。災害時支援としては、浜松市として来年度災害時ワーキンググループを立ち上げて、災害時の支援について考えている。

3 医療的ケア児等支援者養成研修報告

資料に基づき事務局より説明

<委員からの意見>

(里委員)

- ・浜松市の研修報告を聞き、実際に医療的ケア児を保育し始めて、健常児の保護者や園職員がどのように感じているのか。良い意見も良くない意見もあるかもしれないが、実際の気持ちを知りたい。受け入れた側の話聞ける場が欲しい。

⇒(事務局) 来年度の研修内容に盛り込んでいくことを考えていきたい。

4 その他

- ・令和3年度医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会について事務局より説明。令和4年3月8日(火)午前10時からオンラインにて、「災害時の備えや対応について」を議題に開催予定。

- ・医療的ケア児等の支援体制整備に向けた現状把握調査について事務局より説明。計画相談支援事業所の実態調査、福祉サービス事業所(児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護、日中一時支援、移動支援)の医療的ケア児等の支援に関する体制整備に向けての調査を進めている。結果が揃い次第、事業者等の同意を得た上で浜松市のホームページに一覧をアップしていきたいと考えている。

<委員からの意見>

(遠藤委員)

- ・医ケア児の全数把握について、名簿登録は今後デジタル化が必須だと考えている。医療機関との共有など、どのように進めていけそうか。

(雨宮委員)

- ・福祉事業所や相談支援事業所も含めて共有する予定だと聞いていたがどのように進むのか。

⇒ (事務局) 浜松市としてはセキュリティ面からクラウドを含めてインターネット上に個人情報を登録することが不可。別の手段の検討が必要だと考えている。

(大木委員)

- ・現在の安否確認システムや実際の名簿登録者数は？

⇒ (事務局) 正確な数は、再度提示したい。名簿登録者数は 1900 人程度、安否確認システム 18 歳未満の登録は 143 人程度の状況。

(雨宮委員)

- ・障がい者基幹相談支援センターとして実施している緊急時対応の登録を進めている中で、医療的ケアのある方のレスパイト入院先が夜間や休日を含めて対応が難しい状況が続いている。訪問看護ステーションは利用者によって 24 時間緊急時対応が可能だと聞いたが、相談は可能か？

⇒ (尾田委員) 訪問看護ステーションとしては、受け入れ先が決まるまでの緊急対応としての対応は相談にのれると思う。

⇒ (雨宮委員) ぜひ、ご相談させていただきたい。

(尾田委員)

- ・訪問看護ステーションとして学校看護師とも今後連携をとっていただけると考えている。どのようにすれば連携をとることが可能か。

⇒ (稲川委員) 浜松市教育委員会としては、連携できる機会があるとありがたい。

⇒ (遠藤委員) 西部特別支援学校は今まで訪問看護ステーションとの連携実績はあるか。

⇒ (八幡委員) 今までは連携の実績無し。今後、希望等あれば対応を考えていきたい。

⇒ (事務局) 今年度、浜松市の教育委員会と校内安全委員会に訪問看護ステーションと情報共有を実施している。今後の連携を考えていきたい。